

第一号議案

2023 年度・事業報告

自 2023年4月 1日

至 2024年3月 31日



公益社団法人

日本マーケティング協会

目次

概況.....	- 2 -
I. 本部活動状況	- 3 -
1. マーケティングに関する調査及び研究【定款第4条第2項】	- 3 -
2. マーケティングに関する研修会及びセミナー等の実施【定款第4条第1項】	- 3 -
① 人材育成・教育プログラム.....	- 3 -
② 研究会.....	- 6 -
③ セミナープログラム.....	- 7 -
④ JMA+.....	- 8 -
3. マーケティングに関する情報の収集及び提供【定款第4条第4項】	- 8 -
4. マーケティングに関する内外関係機関との交流及び協力【定款第4条第5項】	- 9 -
5. マーケティングに関する研究に対する支援【定款第4条第5項】	- 10 -
6. PR活動や会員サービス事業.....	- 10 -
7. マーケティング検定に関する運営【定款第4条第7項】	- 15 -
II. 2023年度新入会員社.....	- 16 -
III. 関西支部事業報告	- 17 -
1. セミナー【定款第4条第1項】	- 19 -
2. 情報発信【定款第4条第4項】	- 21 -
3. 第15回日本マーケティング大賞「地域賞」【定款第4条第3項】	- 21 -
IV. 九州支部事業報告	- 23 -
1. 人材育成・教育【定款第4条第1項】	- 23 -
2. セミナー・講演会【定款第4条第1項】	- 23 -
3. 情報発信【定款第4条第4項】	- 24 -
4. 第15回日本マーケティング大賞「地域賞」【定款第4条第3項】	- 24 -
V. 北海道支部事業報告	- 26 -
1. 人材育成・教育【定款第4条第1項】	- 26 -
2. 講座【定款第4条第1項】	- 26 -
3. セミナー【定款第4条第1項】	- 26 -
4. 第15回日本マーケティング大賞「地域賞」【定款第4条第3項】	- 27 -

概況

<入退会>

2023 年度の入会社は 16 社、コロナ禍影響に寄るところが大きく退会社は 34 社に上った。主な入会社はブルボン、三井海上火災保険、東横イン、日本アドバタイザーズ協会等、主な退会社はリコー・ジャパン、日本生活協同組合、NTT コムウェア、ニベア花王、日本コカ・コーラ等であった。

<業績>

2023 年度は新型コロナウイルス感染症が 5 月 8 日に 5 類へと移行した為に雑収入に当たる雇用調整助成金の交付が打ち切られた。よって 23 年度の最終損益は純粋に日本マーケティング協会の本来の活動によってのみもたらされた結果であるが、4 月 1 日現在で 500 万～1,000 万程度の黒字を計上出来る見込みである。検定事業が約 5,000 万円の売り上げを達成する見込みで昨年対比 130%以上伸びたことが最も大きい要因と言える。また前年度まで実施しており、オンライン化以降常に赤字となっていたワールドマーケティングサミットの委託を見送ったことも次なる要因である。

<各種教育研修>

各教育研修事業の受講者の推移は以下の通りである。東京ベーシックコース以外は、昨年と同数の参加者であった。昨今のインフレに感化され受講料の値上げに踏み切り、東京本部と関西支部の受講料格差を縮小させた。

東京ベーシック	196 名	→	242 名	受講料	14%UP	275,000 円
東京マスターコース	30 名	→	30 名	受講料	据え置き	990,000 円
東京エグゼクティブ	15 名	→	15 名	受講料	据え置き	330,000 円
関西ベーシック	57 名	→	57 名	受講料	23%UP	176,000 円
関西マスター	16 名	→	16 名	受講料	6%UP	968,000 円

<セミナー・研究会>

セミナーに関しては、コース総数は昨年度比で 4 コース増え、年度を通じて 76 回開催する事が出来た。参加者総数は 15%減の 5,433 名、参加料収益は 21%減の約 1.43 億円であったが、ワールドマーケティングサミットの開催を中止したことがその殆どの要因である。

一方、スポンサードセミナーや各種研究会は順調に参加者が増え増収となった。

<マーケティング検定>

2023 年度の受験者数は 3 級試験 4,337 名、2 級試験 1,444 名、1 級試験 56 名となり、昨年度から 1397 名増加となった（前年度比 131%）。昨年度は三井住友海上火災保険の新入社員の必須資格として導入を決めた他、電通が新入社員全員で 3 級試験を受験することを決めるなど社内教育制度への採用が続いた。また中国の CCPIT（中国国際貿易促進委員会）と業務委託契約を締結し、中国国内で検定を普及する取り組みを推進した。

<マーケティング大賞>

応募総数 100 件の中から、アサヒビールと電通デジタルの合弁会社であるスマドリ株式会社の「スマドリバー渋谷」が大賞を受賞した。アルコールを飲めない人と、アルコール嗜好者との円滑なコミュニケーションの場を創造していくマーケティング活動が高く評価された。今年度は大賞以外にも複数社が各個社の強みを持ち寄って企画立案した施策の応募が多く散見された。この傾向は来年度以降も続くと思われる。

<国際活動>

2023 年 5 月にバングラデシュのダッカで開催されたアジアマーケティング協会のボードオブミーティングで、新たにバングラデシュ マーケティング連盟のサイド・フェルハット・アンワー教授（Dr. Syed Ferhat Anwar）が会長に就任。10 月にはシンガポールマーケティング連盟（SIM）創立 50 周年国際会議が開催され、JMA から高石専務理事と河野職員が参加し JMA と SIM の包括的友好条約を締結した。11 月にタイのバンコクで第 3 回ワールドマーケティングフォーラムが初めてリアル形式で開催され各国から多くの受講者が参加した。

I. 本部活動状況

1. マーケティングに関する調査及び研究【定款第4条第2項】

◆ マーケティング・リサーチの現状に関する調査

- ・『マーケティング・リサーチの現状に関するアンケート調査』は、1985年以降実施してきた調査で、これまでマーケティング・リサーチが経営・マーケティング活動を実践する上で意思決定にどう役立っているかなど、幅広く企業の活動実態などを報告している。
- ・2023年度は、現在のマーケティング・リサーチの現状についてのディスカッションや外部での調査やデータ分析についてヒアリングなどを行い、マーケティング・リサーチについての現状把握をすすめた。

2. マーケティングに関する研修会及びセミナー等の実施【定款第4条第1項】

① 人材育成・教育プログラム

◆ マーケティング・ベーシックコース

- ・指導講師
顧問 恩蔵 直人氏 早稲田大学 商学大学院 教授
三浦 俊彦氏 中央大学 商学部 教授
委員長 久保 知一氏 中央大学 商学部 教授
指導講師 坂下 玄哲氏 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授
結城 祥氏 神戸大学大学院 経営学研究科 准教授
芳賀 康浩氏 青山学院大学 経営学部 教授
須永 努氏 早稲田大学 商学大学院 教授
田嶋 規雄氏 拓殖大学 商学部 教授
松下 光司氏 中央大学大学院 戦略経営研究科 教授
石田 大典氏 同志社大学 商学部 准教授
横山 斉理氏 法政大学 経営学部 教授
- ・実施期間
夏期水曜コース 2023年5月31日(水)～7月19日(水) 8回 74名
木曜コース 2023年6月1日(木)～7月19日(水) 8回 57名
秋期木曜コース 2023年10月19日(水)～12月14日(木) 8回 64名
金曜コース 2023年10月20日(木)～12月14日(木) 8回 47名
- ・会場 公益社団法人日本マーケティング協会 9階アカデミーホール
オンラインのハイブリッド開催

◆ マーケティング・マスターコース

- ・23年7月には第29期の修了生30名が修了した。
- ・マスターコースの修了要件のひとつである論文執筆について、第17期マーケティング・マスターコースより、日本のマーケティングの発展に多大な功労を頂いた、鳥井道夫氏の功績を長く顕彰すべく、鳥井道夫賞(サントリーホールディングス(株)協力)を創設し、表彰している。受講者の論文執筆に対するモチベーション向上に寄与している。

最優秀論文 1点

”ロコミデータ”から発売前の成否を測る！

ーCSゲーム業界を例としたロコミデータから将来販売予測を行う手法の開発ー
(株)電通 戸井田 旬平氏

優秀論文 3点

健康無関心層を動かす価値観マーケティング手法の探究 意識データ・SNS データを活用した行動変容タイプとインサイト分析

(株)博報堂 DY ホールディングス 松本 友里氏

インバウンド消費を拡大させる 訪日外国人旅行者に向けたCX戦略
～訪日タイ人旅行者の菓子類の購買体験に着目して～

パナソニック オートモーティブシステムズ(株) 米山知奈津氏
敵対的生成ネットワークの菓子ブランドのマーケティング・ミックス・モデリングへの活用可能性の検討

(株)ロッテ 高橋 由直氏

【第30期マーケティング・マスターコースについて】

- ・ 現状の現場で必要とされるマーケティング課題をカリキュラム内容に反映し、今期もコースを開講している。会場受講とオンライン受講が混在するハイブリッド形式にて実施中。
- ・ 実施時期 2023年9月6日(水)～2024年7月31日(水)終了予定
- ・ 参加者 30名
- ・ 会場 公益社団法人日本マーケティング協会・オンラインのハイブリッド開催

マイスター

2023年9月時点(社名50音順)

【マイスター代表】

小泉 篤氏 (株)花王 特命フェロー

【マイスター】

伊賀 聡氏 (株)アキラカ 代表取締役

松田 貴夫氏 アクサ生命保険(株) 取締役 専務執行役員 兼 チーフマーケティング・オフィサー兼アジア地域担当カスタマー・プロポジション部門長

小島 雄一氏 (株)朝日新聞社 メディア事業本部 マーケティング部部長

秋元真理子氏 (株)旭リサーチセンター シニア・リサーチャー

石井 龍夫氏 アドビ(株) エグゼクティブフェロー

長崎 貴裕氏 (株)インタージ 取締役 CDO

大泉 裕樹氏 (株)インテグレート エグゼクティブコンサルタント

福德 俊弘氏 (株)エイチ・アイ・エス 常勤顧問

戒田 好範氏 (株)ADK マーケティング・ソリューションズ EX プランニングセンター ブランド・デザインユニット シニア・プランニング・ディレクター

豊田 実氏 エコートレーディング(株) 代表取締役 社長

山口 修氏 NTTコミュニケーションズ(株) ソリューション&マーケティング 本部デジタルマーケティング部ソリューション DX 部門部門長

伊藤 邦宏氏 (株)NTT ドコモ スマートライフカンパニー コンシューママーケティング 部長

近藤 精一氏 (株)NTTPC コミュニケーションズ 経営企画部長

向井 英伸氏 (株)オリエントコーポレーション 常務執行役員 デジタルマーケティンググループ 長

宮地 雅典氏 カゴメ(株) 執行役員 マーケティング本部広告部長兼野菜をとろうキャンペーン推進担当

根岸 伸明氏 キッコーマン(株) 執行役員 法務・コンプライアンス部長

音部 大輔氏 (株)クー・マーケティング・カンパニー 代表取締役

多田 誠司氏 サントリー食品インターナショナル(株) ブランド開発事業部 部長

和田 龍夫氏 サントリー食品インターナショナル(株) 執行役員 SBF ジャパン コミュニケーション本部長

北原規稚子氏 資生堂ジャパン(株) マーケティングリレーション本部 本部長

加治 慶光氏 (株)シナモン AI 取締役会長 兼 チーフ・サステナビリティ・デベロップメント・オフィサー/(株)日立製作所 Lumada Innovation Hub Senior Principal/鎌倉市スマートシティ推進参与

和田 浩史氏 ソフトバンク(株) コミュニケーション本部 アライド統括部 統括部長

鬼木 美和氏 (株)大広 取締役執行役員

朝岡 崇史氏 (株)ディライトデザイン 代表取締役 / 法政大学 大学院 客員教授

磯島 拓矢氏 (株)電通 zero EPD

戒田 信賢氏 (株)電通 第4統合ソリューション局 ストラテジスト

作田 賢一氏 (株)電通 ビジネストラנסフォーメーション・クリエイティブセンター長

田中 耕平氏 (株)電通 第1統合ソリューション局 MD

長谷川雅典氏 dentsu Japan CLO

大倉 新也氏 (株)東急エージェンシー 執行役員 ビジネスデザイン統括本部 副本部長

森川 東勲氏 TOPPAN(株) ビジネストラנסフォーメーションセンター エンゲージメントサービス本部 マーケティングアナリティクス部部長

福島 常浩氏 トランスコスモス(株) 上席常務執行役員

松田 良大氏 (株)ニッスイ ファインケミカル事業部 化成品二課 担当課長
 榎本 知佐氏 パーソルホールディングス(株)/イオンモール(株)/日本郵便(株) 社外取締役
 加藤 昌治氏 (株)博報堂 UNIVERSITY of CREATIVITY 局長
 黒澤 高次氏 (株)博報堂 αクリエイティブ 局局長 エグゼクティブクリエイティブディレクター
 中村 信氏 (株)博報堂 DXソリューションデザイン局局長 エグゼクティブマーケティングディレクター
 原 節子氏 (株)博報堂 コンサルティング開発局局長代理 チーフインノベーションプランニングディレクター
 関口 昭如氏 パナソニック コネクト(株) デザイン&マーケティング本部 デジタルカスタマーエクスペリエンス統括部統括部長
 貴田 晃氏 フレックス(株) 執行役員 自動車本部 本部長
 田中 大貴氏 (株)Paidy コーポレート本部長
 大森 剛介氏 (株)マンダム 執行役員 ブランドマーケティング部 部長
 佐藤 実氏 森永製菓(株) マーケティング本部 健康マーケティング部長
 谷口 竜太氏 森永乳業(株) マーケティング統括部 統括副部長
 南 暁氏 ライオン(株) ビジネス開発センター コンシューマーレゾナンス マーケティングリサーチ専任ディレクター
 山口 周氏 (株)ライブニッツ 代表

【アカデミック・アドバイザー】

中野 香織氏 駒澤大学 経営学部市場戦略学科教授
 豊田 裕貴氏 法政大学経営大学院 インノベーション・マネジメント研究科教授
 横山 斉理氏 法政大学 経営学部経営学研究科教授
 恩蔵 直人氏 早稲田大学 商学大学院教授
 川上 智子氏 早稲田大学大学院 経営管理研究科教授

- ・ コース構成 5領域制、計 132 セッション 毎週水曜日開講

【MARKETING MASTER ALUMNI (マスターコース同窓会)について】

- ・ マーケティング・マスターコースは 1994 年の開講より、第 1 期から第 27 期までの修了生総勢 1,200 名に上るマーケティング人材を輩出してきた。この、マーケティングに携わる一流の人材同士の巨大なコミュニティを活用すべく、「MARKETING MASTER ALUMNI」という同窓会を結成し、事務局で活用機会を促進している。
- ・ 特設 Web サイトを開設し、修了生同士の情報交換や活動の情報発信などを活発に行えるプラットフォームとして運用している。マーケティング・マスターコースへの指導参画や、協会事業に協力を頂けるメンバーシップ型のコミュニティとしていく。
- ・ 親睦を深める為の懇親会を年 1 回のペースで実施予定。

◆ マーケティング・エグゼクティブコース

- ・ マーケティングワークショップでは、ビジネスゲームを実施して、好評であった。
- ・ 富士通の全社 DX プロジェクトは、自社の DX 化の参考になった
デザイン経営の演習は、自社のビジネスデザインを考えるためのまとめになった

委員長 黒岩健一郎氏 青山学院大学大学院 教授

講師 内田 和成氏 早稲田大学 名誉教授

山田 英夫氏 早稲田大学ビジネススクール 教授

松林 正人氏 元 ニベア花王 代表取締役社長

栗木 契氏 神戸大学大学院 経営学研究科教授

小田部正明氏 早稲田大学・ハワイ大学マノア校 教授

永井 一史氏 HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長/多摩美術大学教授

福田 譲氏 富士通(株) 執行役員 EVP CDXO(最高デジタル変革責任者)CIO(最高情報責任者)

瀬田 信吾氏 (株)ウィル・シード 代表取締役社長

- ・ 実施期間 2023 年 8 月 7 日(月)～8 月 10 日(木)
- ・ 参加者 15 名
- ・ 会場 日本マーケティング協会 アカデミーホール

② 研究会

◆ 次世代マーケティングプラットフォームの研究

インサイトハブ

- ・ ビジネスリーダーが消費者/ユーザーの本質的な欲求の理解を通じて、社会に新価値を創造するためのネットワーク。
- ・ JMA インサイトハブを構成する活動として、最新のトピックを取り上げ、知識をアップデートするオープンセミナーSCHOOL(JMA インサイトスクール)とディスカッションを通じて問題解決の示唆を得るコミュニティスタイルのLAB(JMA インサイトラボ)に加えインサイト理解の理論から実践例まで、網羅的に学べるハイブリッド講座(JMA インサイトユニバーシティ)を開催した。
- ・ コメンター
 - 加藤 巧氏 江崎グリコ(株) 執行役員 上海江崎格力高食品有限公司総経理
 - 小林 康二氏 日本コカ・コーラ(株) マーケティング本部ヒューマン・インサイト・リード
 - 中村 淳一氏 Meta マーケティングサイエンスノースイーストアジア統括
 - 鈴木 健氏 (株)ニューバランスジャパン マーケティング部ディレクター
 - 大松 孝弘氏 (株)デコム 代表取締役社長

JMA インサイトスクール JMA インサイトスクール

開催日	テーマ	参加者
4月24日(月)	第14回 生成AI(ChatGPT など)でインサイト発見とアイデア創出は、どう変わるべきか？	691名
5月22日(月)	第15回 メーカーが消費者と直接つながる DX「CokeON」が成功した真相とは？	229名
8月8日(火)	第16回 生成AI時代の消費者インサイト理解へのチャレンジ	141名
会場：オンライン開催		
12月19日(火)	第17回 味の素のブランディング実行力と裏側の理論～インサイト起点でブレずに成果を出し続ける仕組みとは？～	87名
1月19日(金)	第18回 味の素流ブランディングの不易流行、いま大切にしていること	85名
3月1日(金)	第19回 インサイトを捉えて、国民を動かす～政府の旗振りでもリスクリングしない人々の隠れた不満とは？～	62名
会場：公益社団法人日本マーケティング協会・オンラインのハイブリッド開催		

JMA インサイトユニバーシティ

開催日	テーマ	参加者
9月25日(月) 10月16日(月) 11月2日(木)	JMA インサイトユニバーシティ 2023 インサイト理解の理論から実践例まで、網羅的に学べる 3DAY カリキュラム	33名
会場：公益社団法人日本マーケティング協会・オンラインのハイブリッド開催		

社会問題解決型 BX(ビジネス・トランスフォーメーション)セミナー

- ・ モデレーター 戒田 信賢氏 (株)電通 ストラテジスト
- ・ 大企業・スタートアップ・自治体・大学といったプレイヤーから社会問題解決型ビジネスの先進事例を学ぶ
- ・ 社会問題の専門家・事業企画のプロフェッショナルから社会問題解決型の事業構想の実践手法を習得
- ・ 企業の枠を超えた参加者同士のワークショップにより企画力の向上とネットワークを構築

開催日	テーマ	参加者
7月14日(金)	プレセミナー：堀潤氏と考える～あなたが会社で「社会問題解決型 BX」を興すためのヒント	290名
9月5日(火)～ 10月31日(火) 5日間 15コマ	社会問題解決型 BX(ビジネス・トランスフォーメーション)セミナー vol. 2	33名
会場：公益社団法人日本マーケティング協会・オンラインのハイブリッド開催		

分科会セミナー

開催日	テーマ	参加者
3月12日(火)	シニアマーケティングの最新事例を学ぶ「シニアビジネス市場研究会」	36名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

③ セミナープログラム

◆ CX・EX

開催日	テーマ	参加者
8月24日(木)	多様性あるカスタマーエクスペリエンスの作り方	21名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ DX

開催日	テーマ	参加者
7月20日(木)	マーケターがリードするDX人材リスティング	35名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

開催日	テーマ	参加者
8月24日(木)	インドネシアに見る、社会ペイン起点のデジタル変革～東南アジアから学ぶ日本の伸びしろ～	93名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

開催日	テーマ	参加者
1月30日(火)	出版記念セミナー デジタル時代のブランド戦略	69名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ ウェルビーイング

開催日	テーマ	参加者
4月11日(火)	JMA ウェルビーイングセミナー第5回 Well-being を実現する企業活動と事業成長の実践	43名
会場：オンライン開催		

◆ 海外視察レポート

開催日	テーマ	参加者
6月23日(金)	ミラノサローネ／フォーリサローネ 2023 に見るデザインの最前線	172名
9月11日(月)	カンヌライオンズ 2023 レポート	250名
1月18日(木)	最先端テクノロジーの祭典・CES 2024 速報レポート	198名
3月18日(月)	小売業界最大の展示会 NRF2024 レポート	67名
会場：オンライン開催		

◆ サステナビリティ

開催日	テーマ	参加者
7月25日(火)	サステナブル・ブランディング講座「Summer School」	18名
2月8日(木)	サステナブル・ブランディング講座「Winter School」	10名
会場：オンライン開催		

◆ 消費者意識

開催日	テーマ	参加者
11月21日(火)	調査してもデータ分析しても、ビジネスアイデアに確信が持てない人のためのインサイト発見&戦略策定技法	22名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ 生成 AI

開催日	テーマ	参加者
2 月 22 日 (木)	『ブランドの森』セミナー 自由回答データと生成 AI がブランドの「いま」と「これから」をあぶり出す	107 名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

開催日	テーマ	参加者
3 月 19 日 (火)	情報メディア白書 2024 セミナー 激変するメディア環境と生活者 ～放送制度、真のスマホネイティブ世代、音声メディア、生成 AI の現在地と未来～	48 名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ ターゲティング

開催日	テーマ	参加者
6 月 16 日 (金)	コネクティッド TV 時代のスポーツ視聴実態とその広告展望・課題	43 名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

◆ データ活用

開催日	テーマ	参加者
9 月 28 日 (木)	マーケティング施策の効果を可視化し、次に活かすデータ活用の在り方とは～今改めて注目されるマーケティングミクスモデリング (MMM) の実践～	94 名
会場：日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

④ JMA+

- ・ 2022 年 1 月より JMA 主催セミナーの動画アーカイブサービスを開始、2023 年も継続した。
- ・ デジタルマーケティング全般、DX 戦略、ブランディング、インサイトに基づく商品開発など、豊富なラインナップから観たいコンテンツを自由に選べるスタイルで、リアルタイムでは参加できなかった JMA 主催のセミナーの動画をスマートフォン・タブレット・PC などの端末で観ることができ、多様化する参加者のニーズに対応するべく随時コンテンツを増やした。3 月末時点で、84 本の動画が掲載された。

3. マーケティングに関する情報の収集及び提供【定款第 4 条第 4 項】

◆ 出版活動、ウェブサイト運営

「マーケティングホライズン」(月刊・情報誌)

- ・ 編集委員長 ツノダフミコ氏 (株)ウエーブプラネット 代表取締役
- ・ 読者の拡大のため、WEB 版ホライズンを開設。
- ・ 2024 年 1 月にはデザインを刷新。隔週でニュースレターを発行した。
- ・ 本年度の特集テーマについては次のとおり。

2023 年 4 月 起業家的マーケティング ～Entrepreneurial Marketing～

5 月 コーポレートガバナンスとコミュニケーション戦略

6 月 Simplify 削ぎ落としたり、何が残るのか

7 月 応援経済 応援消費はなぜ拡大するのか

9 月 感動業から見える未来(あした)

10 月 ウェルビーイングに包まれて

11 月 静動脈連携 ～社会課題起点の発想による創造的取り組み～

12 月 シゴトとハタラクの未来

2024 年 1 月 よくよく欲を考える

2 月 SBNR(Spiritual But Not Religious)精神的価値を、ビジネス資産に

3 月 Women in Pioneeriship

ホームページ

<https://horizon.jma2-jp.org/>継続して、多くの方々にアクセスをしていただけるよう、定期的にサイトを更新に SEO を高め、さらにアクセス解析を踏まえながらユーザーの利便性向上に努めた。

4. マーケティングに関する内外関係機関との交流及び協力【定款第 4 条第 5 項】

◆ アジア・マーケティング連盟

アジア 17 カ国・地域のマーケティング団体・研究所で構成されるアジア・マーケティング連盟は、定例の総会をタイのバンコクで開催した。

	開催日	開催地
AMF 理事会	2023 年 5 月 28 日	バングラディッシュ ダッカ
AMF 年次総会	2023 年 11 月 17 日	タイ バンコク

◆ ワールド・マーケティング・フォーラム

	開催日	開催地
WMF2023	2023 年 10 月 6 日～10 月 7 日	マレーシア クアラルンプール

◆ その他の後援・協賛・協力

後援

開催日	名称	主催団体
4 月 5 日～7 日	第 6 回 Japan マーケティング Week 春 東京ビッグサイト	RX Japan(株)
5 月 25 日	九経調経営セミナー 60 分でわかる九州経済 (入門編) オンライン	(公財)九州経済調査協会
7 月 19 日～21 日	第 15 回 Japan マーケティング Week 夏 幕張メッセ	RX Japan(株)
9 月 27 日～29 日	第 4 回 Japan マーケティング Week 関西 インテックス大阪	RX Japan(株)
4 月 19 日～21 日	ファーマ IT&デジタルヘルス エキスポ 2024 日本橋ライフサイエンスビル	インフォーマ マーケッツ ジャパン(株)
6 月 6 日～6 月 8 日	Advertising Week Asia 2022 東京ミッドタウン	Stillwell Partners Inc.
6 月 15 日	2023 日本パッケージングコンテスト後援名義 使用及び協会賞交付 オンライン開催	(公社)日本包装技術協会
9 月 27 日	HMIC カンファレンス 2023 日本橋ライフサイエンスハブ	インフォーマ マーケッツ ジャパン(株)
10 月 19 日～20 日	ad:tech tokyo 2023 東京ミッドタウン&ザ・リッツ・カールトン	コムエクスポ ジャパン・ジャパン(株)
1 月 21 日	第 34 回シンポジウム「ファミリービジネスの神話 と実像? ファミリービジネス研究の可能性」 神戸大学大学院経営学研究科 本館 2 階 206 教室	神戸大学 現代経営学研究所 ／神戸大学大学院経営学研究科
2 月 8 日～9 日	CCAJ コンタクトセンタ・セミナー2023 アーバンネット神戸カンファレンス・オンラインのハイブリッド開催	(一社)日本コールセンター協会
2 月 16 日	第 63 回 2024 年 ジャパンパッケージングコン ペティション審査会・後援	(一社)日本印刷産業連合会

審査会場：日本印刷会館 2 階会議室		
3 月 5 日(審査日)	第 65 回全国カタログ展 本審査会	(一社) 日本印刷産業連合会
日本印刷会館 2F 会議室		
2 月 16 日(審査日)	第 75 回全国カレンダー展 審査会・後援	(一社) 日本印刷産業連合会 ・(株)産業経済新聞社
審査会場：日本印刷会館		
2 月 21 日～22 日	マーケティングテクノロジーフェア 2024 東京(第 12 回)	インフォーマ マーケッツ ジャパン(株)
東京ビッグサイト 東 1 ホール		

協賛

開催日	名称	主催団体
9 月 13 日～15 日	国際物流総合展 2023 第 3 回 INNOVATION EXPO	(一社) 日本能率協会・ (公社) 日本ロジスティクスシステム協会
東京ビッグサイト 西展示棟		
11 月 29 日 ～12 月 1 日	第 52 回日本プロモーション・マーケティング協会展 2023	(一社) 日本プロモーション・マーケティング協会
東京都立産業貿易センター		

共催

開催日	名称	主催団体
4 月 15 日～8 月 5 日 10 月 7 日～2 月 3 日	早稲田マーケティングカレッジ次世代のマーケティングを学ぶ総合講座	早稲田大学
早稲田大学日本橋キャンパス		

5. マーケティングに関する研究に対する支援【定款第 4 条第 5 項】

◆ 関東学生マーケティング大会支援

マーケティングを専攻する大学生が一同に会し、学問としてのマーケティングに磨きをかけ、熱い討論会が繰り広げられた。

- ・ 開催日 2023 年 11 月 18 日(土)、25(土)
- ・ 参加者 15 大学 20 ゼミ
- ・ 会場 早稲田大学 早稲田キャンパス
喜悦大学 國田ゼミ、慶應義塾大学 清水ゼミ、慶應義塾大学 里村ゼミ、慶應義塾大学 山本品ゼミ、専修大学 八島ゼミ、専修大学 奥瀬ゼミ、中央大学 久保ゼミ、中央大学 寺本ゼミ、東京経済大学 森岡ゼミ、東洋大学 石田ゼミ、法政大学 竹内ゼミ、明治学院大学 赤松ゼミ、横浜国立大学 鶴見ゼミ、横浜国立大学 寺本ゼミ、立教大学 有馬ゼミ、立教大学 高岡ゼミ、早稲田大学 久保ゼミ、早稲田大学 守口ゼミ、千葉商科大学 西井ゼミ、目白大学 錫田ゼミ、埼玉大学 川端ゼミ
- ・ 共通テーマ 「きずくマーケティング」
- ・ 審査の結果 【総合賞】1 位 早稲田大学 守口ゼミ B 班

6. PR 活動や会員サービス事業

◆ 第 15 回日本マーケティング大賞【定款第 4 条第 3 項】

- ・ 2007 年に創設された日本マーケティング大賞は 2023 年 4 月 28 日、実行委員会・選考委員会合同の最終選考会が開かれ、「大賞」「奨励賞」の選定、および各支部で選ばれた「地域賞」の承認が行われた。6 月 19 日の JMA 定時総会にて報告。10 月 6 日のオンライン報告会で受賞企業に講演いただいた。受賞の盾は、郵送でお送りいたしました。
- ・ 2018 年 9 月より賞のコンセプトを定め、諸規定を整え、募集・選考を行った。委員会組織は以下の通り

【実行委員会】(2022 年 9 月時点)

実行委員長 藤重 貞慶氏 JMA 会長(ライオン(株) 特別顧問)

実行副委員長	内田 和成氏	JMA 理事長(早稲田大学 名誉教授)
委員	石井 直氏	JMA 副会長(㈱電通 相談役)
	石原 進氏	JMA 副会長(九州旅客鉄道㈱ 特別顧問)
	廣瀬 兼三氏	JMA 副会長(北海道新聞社 代表取締役会長)
	辰馬 政夫氏	JMA 副会長(㈱電通 執行役員 関西・中部統括 関西支社長)
	高石 一朝氏	JMA 専務理事

【選考委員会】

選考委員長	近藤 豊和氏	産業経済新聞社 上席執行役員 東京メディア営業局長
選考副委員長	磯貝 智崇氏	アビームコンサルティング㈱ CRM セクター長兼執行役員
委員	恩蔵 直人氏	早稲田大学 商学大学院 教授
	古川 一郎氏	一橋大学名誉教授、武蔵野大学 経営学部長
	里村 卓也氏	慶應義塾大学 商学部 教授
	山下 竜治氏	朝日新聞社 メディアビジネス局長補佐
	清水 二郎氏	アサヒビール㈱ マーケティング本部 副本部長 執行役員
	岡本 達也氏	味の素㈱ 執行役常務 食品事業本部副事業本部長
	白田 健彦氏	㈱ADK マーケティング・ソリューションズ 事業役員メディア&ソリューション統括補佐 EX デザインセンター長
	高島祐一郎氏	㈱講談社 販売局局次長 兼 宣伝部部長
	岡部 純子氏	産業経済新聞社 メディア営業局 業務推進部長
	望月 良輔氏	資生堂ジャパン㈱ プレミアムブランド 事業本部プレミアムブランドマーケティング本部エリクシル・アネッサマーケティング部バイスプレジデント
	久保田 哲氏	㈱DNP コミュニケーションデザイン 代表取締役社長
	鈴木 禎久氏	㈱電通 執行役員【JMA 理事】
	岩崎 拓氏	㈱博報堂 執行役員【JMA 理事】

【運営事務局】

運営事務局	竹原 聖人	日本マーケティング協会 事務局長
	川井 直人	日本マーケティング協会 研究開発局 エグゼクティブコンサルタント
	水戸 信之	日本マーケティング協会 関西支部 事務局長
	和泉 宏	日本マーケティング協会 九州支部 事務局長
	梶原 仁	日本マーケティング協会 北海道支部 事務局長
	伊藤 梓沙	日本マーケティング協会 業務推進局

日本マーケティング大賞の設立趣旨

『日本マーケティング大賞』は、厳しい経済環境の中でも、企業・自治体・団体等の組織における新しいマーケティングやコミュニケーションの手法、もしくはビジネスモデルの開発を積極的に促すことで、消費者の生活の向上と経済・社会の活性化に資する活動を奨励し、マーケティングのプレステージを高めることを目的として 2007 年に発表、第 1 回は 2009 年より実施された。15 回目となる本年は、日本の市場が成熟化する中で、成長につながる創意工夫が凝らされたプロジェクトが多くエントリー、厳選な審査の中から上記が選出された。

日本マーケティング大賞の応募要件と選考概要

対象活動： 社会に新しく需要を喚起、あるいは市場を再活性化した優れたマーケティング活動
 ＜対象活動の具体例＞

- ① 新たにマーケティングの概念を取り入れた企業や NPO、自治体等の活動
- ② 生活者・社会との共存・共生/社会的課題の解決に貢献した活動
- ③ 新しい価値の提案やトレンドを生み出した活動
- ④ マーケティングによりブレイクスルーをもたらした活動
- ⑤ グローバル市場で成果のあった活動
- ⑥ オリジナルな新しいビジネスモデルの構築

- ⑦ 社内外、産・官・学とのコラボレーションを取り入れた活動、または生活者との共創
- ⑧ BtoB ビジネスや専門市場におけるマーケティングとして際立った活動
- ⑨ 規模が小さくても、キラリと光る活動
- ⑩ 地域特性を活かしたマーケティング活動
- ⑪ 上記以外でも、今年を象徴するに値する新鮮な戦略提案(「マーケティング提案」)

募集期間： 2022 年 12 月 1 日～2023 年 1 月 31 日

結果発表： 2023 年 6 月 19 日(月) ※JMA 総会にて表彰式・懇親パーティを実施 JMA ホームページで発表、プレスリリース

対象範囲： 日本市場における企業・団体・組織の活動、および日本法人の海外市場での活動(自治体、NPO、大学・病院なども含む)

推薦資格： 日本マーケティング協会会員および日本マーケティング学会会員(自薦・他薦を含む)

エントリー費用： 無料

審査方法： 選考委員により、推薦資料を基に追加情報を含めて討議を実施し、選定

主 催： 公益社団法人 日本マーケティング協会

協 力： 日本マーケティング学会

● 日本マーケティング大賞

総合的に周到なマーケティング計画のもと、市場へのインパクト、独自性、ブランド定着性など、目覚ましい成果を上げたプロジェクトを選考委員会で選定。

飲めない人の視点から新文化創造に挑戦 『スマドリバー渋谷』ローンチプロジェクト：

スマドリ(株)(アサヒビール(株)と(株)電通デジタルとの合弁会社)

SDGs 時代の新たなマーケティング活動として「社会価値」と「経済価値」を両立することを目指して、「飲めない人+飲まない人」=約 5000 万人を新市場と捉えつつ、“新しい飲酒文化を共創”することに挑戦。そこで、飲める人と飲めない人が極端に「分断」されていることを社会課題に設定し、新しいお酒カルチャーを共創&発信するバー『スマドリバー渋谷』を渋谷センター街にオープンした。

「飲めない自分のままでいい。飲めても飲めなくても、みんな飲みトモ。」をコンセプトに、アルコール分 0%、0.5%、3%の 100 種類以上のドリンクから自分の体質や好みに合ったドリンクを選べるなど、飲めない人のインサイトに徹底的にこだわった店舗設計、メニュー開発、体験設計とした。

結果、普段はドリンクの選択肢が圧倒的に少ないという飲めない人が密かに抱えていた不満を解決するだけでなく、お酒を飲む人が、お酒を飲めない人を連れてくるなど、お酒を「飲める」人と「飲まない/飲めない」人が一緒に楽しめる場を創出している。

さらに、適正飲酒啓発活動を渋谷区の一般社団法人渋谷未来デザイン/企業/大学/地域団体と共に推進しており、Z 世代を中心に大きな話題となった。

飲めない人はもちろん、飲める人をも動かし、一緒に楽しめる社会へ向けた第一歩を実現。飲まない人の新市場創出に果敢に挑戦した。

● 日本マーケティング大賞 準グランプリ

グランプリに準じる成果を上げたプロジェクトを選考委員会で選定。

SNS 活用+製造バリューチェーン DX 化による新商品開発販売スキームの別解創造 Z 世代向けライフスタイル提案ブランド「粥粥好日(かゆかゆこうじつ)」：

味の素(株)・三井物産(株)・(株)ドットミー

味の素社は、食品業界では日本初となる Z 世代向け事業創出の専任組織を新設。Z 世代の義憤を起点に D2C 事業を構想し、SNS の AI 予兆分析ツールを活用し、SNS 分析を着想に活かす取り組みを行った。製造・販売は、三井物産/D2C 支援の新会社「.me」(ドットミー)と協業。これにより、大手メーカーとしては異例の速さで、Z 世代向けに、レンジで温めるだけで健康的で本格的な世界の味が楽しめる新感覚カップお粥を中心にライフスタイルブランド「粥粥好日(かゆかゆこうじつ)®」を、EC 及び渋谷 POPUP ストアにて新発売した。

また、三井物産/D2C 支援の新会社「.me」は、商品開発・原料調達・製造・販売のバリューチェー

ンの DX 化を可能とし、プロジェクトの推進に大いに貢献した、プロジェクトの推進に大いに貢献した。

● 日本マーケティング大賞 奨励賞

独自性や先行性、社会課題解決性、新しいマーケティングの芽など、規模は小さいながらもキラリと光るマーケティング・プロジェクトを選考委員会で選定。

共助×DX で地方の未来を創るノッカルの挑戦 : 富山県朝日町・(株)博報堂

富山県朝日町と博報堂は、新しい交通サービスの「ノッカル」を開発した。

ノッカルは、住民の普段のマイカー移動を活用しながら、住民同士の助け合いの気持ちを形にした新しい交通サービス。

一般住民がドライバーとなり、マイカーでのお出かけのついでに、近所の移動に困っている人を「乗っけて」移動する仕組みである。運行主体が自治体でありながら、運行管理を地元交通事業者、ドライバーを地域住民が担うため、コストを最小限に抑えられ、過疎地域でも導入しやすい特徴がある。

富山県朝日町で、2020 年から実証実験を開始し、2021 年より正式な町営交通として本格運行をスタート。高岡市等、他地域への展開も進んでいる。

こうした活動が評価され、グッドデザイン賞など多数を受賞。内閣府の「令和 4 年版高齢社会白書」にも掲載された。

みんなで!どう解く? : 日本マクドナルド(株)

日本マクドナルド社は、同社が展開する子供・家族向けの「ハッピーセット?」プロモーションで、答えのない道德の問題を考える絵本のおまけを企画。ワークショップを開催し子どもたちと考えた問いや答えを一冊にまとめた。

約 1 年にわたって、ツイッター、店内ボード、店内放送などあらゆるマクドナルドのチャンネルを使ったプロモーションを展開。SNS やテレビなどで大きな話題となった。さらに、絵本を元にしたオリジナル教材を開発・公開。半年で 1,000 校以上もの小学校で教材を使った授業が実施された。

LIFULL HOME'S「FRIENDLY DOOR」 : (株)LIFULL

(株)LIFULL は、「住宅弱者問題」に着眼。LGBTQ、高齢者、外国人、シングルマザーなどの住宅弱者と理解ある不動産会社をつなげるサービス「FRIENDLY DOOR」を 2019 年に立ち上げた。「FRIENDLY DOOR」に賛同する不動産会社は、同社のプロモーションにより 2022 年には 4,000 社にまで拡大。単なるソーシャルアクションとして取り組むのではなく、事業としての収益性や継続性の実現を目指している。LIFULL は、「あらゆる LIFE を、FULL に」というパーパスを掲げる。

「FRIENDLY DOOR」の事業責任者は、自身が外国籍であり住宅弱者としての経験や思いがあった。事業の拡大には、ブランドパーパスとパーソナルパーパスの合致という側面も見逃せない。

伝統の日本酒蔵が挑戦する「体験型」BtoC 事業 : 梅乃宿酒造(株)

創業 130 年を迎える梅乃宿酒造(奈良県葛城市)が、2022 年 7 月の蔵移転を契機に、従来の酒販店を中心の BtoB の領域を超え、D2C(Direct to Consumer)チャネルを軸とした、一般消費者を対象とする、B2C(Business to Customer)事業への変革にチャレンジした。特に重要な D2C ビジネスにおいては、「#ワクワクの蔵」というコンセプトのもと、ユーザーとの直接のつながりと体験価値に重点を置いた商品開発や会員プログラムを新たに実施。

初めての B2C 限定商品である「大人の果肉の沼」という果実リキュールでは、従来の果実リキュールの「開発力」×SNS 世代の「映える体験価値」をかけあわせ、味や香り、見え方まで、「ユーザーが手元でいろいろな飲み方を楽しむ」ことを念頭に開発。結果、SNS でのオーガニックの投稿が 1 万リツイートを超えるなど、従来より若いターゲット層を中心に拡散し、発売から半年たっても、製造即完売の状況が続いている。

その他、各種キャンペーンや商品ローンチを行ったことで、D2C チャネルで初年度から約 2 億円の売上を見込んでいる。

「地球の歩き方」コロナ禍で売上 95%減からの V 字回復 : (株)地球の歩き方

コロナ感染症による緊急事態宣言の影響で、一時期は売上が 95%減まで落ち込んだ「地球の歩き方」ガイドブックシリーズ。2022 年に、謎の古代遺跡やオーパーツ、UFO、UMA など異世界を紹介する「地球の歩き方ムー」を発売し、1 ヶ月で 11 万部の大ヒットを記録。これ以降も、人気漫画「ジョジョの奇妙な冒険」とタイアップした「地球の歩き方 JOJO ジョジョの奇妙な冒険」、「世界のお菓子図鑑」など、新しい切り口でのシリーズを発刊することで、V 字回復を遂げた。出版不況だけでなくコロナによる旅行需要の激減にもかかわらず、V 字回復を果たしたことは、特筆に値する。

「地球の歩き方」は、そもそもは旅先に行く前に買うガイドブックとして強いブランド力を発揮していたが、コロナ以降はテーマを新しい切り口にすることで、読み物としての需要を呼び起こし、新しい層の読者を掘り起こした。

● 日本マーケティング大賞 地域賞

優れたマーケティング・プロジェクトであることに加えて、経営資源が地域にあること、地域活性化に資すること、地域の特徴を活かした事業であることが条件。日本マーケティング協会の関西、九州、北海道支部でそれぞれ選考し、実行委員会・選考委員会が承認する。

関西地区 偶然性で旅の行き先を決める「サイコロきっぷ」プロモーション: 西日本旅客鉄道(株)

九州地区 食料廃棄物を釣りえさへ ECYCLE PROJECT : (株)電通九州・IMARI(株)・九州大学

北海道地区 創業 6 年の酒蔵が挑戦する「6 次産業化地方創生」: 緑丘工房(株)

詳細は各支部報告ページに記載

第 15 回 日本マーケティング大賞オンライン報告会

開催日	テーマ	参加者
10 月 6 日(金)	第 15 回日本マーケティング大賞 報告セミナー	194 名
会場: オンライン開催		

◆ JMA メンバーズプログラム【定款第 4 条第 6 項】

- ・ JMA セミナー コンサル&サポートは、会員企業主催のセミナーを JMA が共催する。講演主催企業の調査研究、事業案内、新規サービス等を紹介する。
- ・ JMA メンバーズセミナーでは、会員社向け無料セミナーを 6 回開催。ビギナーズ向けの『超入門講座』は回を増すごとに参加者も増加しており、実施回数を増加。入門セミナーの需要の高さが伺えた。
- ・ 企業見学会は未実施。

JMA セミナー コンサル&サポート

開催日	テーマ	参加者
8 月 1 日(火)	エビデンス+αの仕掛けをつくる	297 名
8 月 28 日(月)	DX でマーケティングはどう変わったのか	381 名
12 月 7 日(木)	Web 行動ログデータで読み解く“ロイヤル顧客”のリアル～データ活用による、新・ロイヤル顧客マーケティング～	218 名
12 月 12 日(火)	食体験の創造と戦略的 PR 南雲 克明トリドールホールディングス	200 名
2 月 16 日(金)	“KANDO(感動)”を起点とした「ブランド力・CX・EX」	106 名
会場: 日本マーケティング協会アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催		

JMA メンバーズセミナー

開催日	テーマ	参加者
5 月 16 日(火)	『プロ直伝! 成功するマーケティングの基本と実践』から読み解くマ	281 名
11 月 13 日(月)	ーケティング超入門講座	133 名
会場: オンライン開催		

◆ JMA サロン

- ・「JMA サロン」は会員企業のトップマネジメントクラスの方のための伝統あるコミュニティ。1982 年以来 42 年にわたり各界の話題性のある方々をスピーカーにご登壇いただいた。少人数ならではのこの場でしか聴くことのできない講和をお楽しみいただくほか、参加者同士の交流の場としても活用されている。23 年には 2 年ぶりに再開・リニューアルを図った。
- ・ 委員長 橋本 昇氏 (株)テレビ朝日 取締役セールスプロモーション局長
委員 遠藤 真也氏 (株)朝日新聞社 メディア事業本部ビジネスソリューション部ビジネスマーケティング担当部長
田島 康正氏 キッコーマン食品(株) 常務執行役員プロダクトマネージャー室長
田中 恵氏 (株)集英社 顧問
榎本 知佐氏 パーソルホールディングス(株)/イオンモール(株)/日本郵便(株) 社外取締役
岩崎 拓氏 博報堂(株) 執行役員
- ・ 各回のテーマと講師は下記のとおりである。

開催日	テーマ	参加者
7 月 12 日(水)	227 回: ビジネス経験を活かしお寺にイノベーションを。『選ばれる本願寺』を目指して 本願寺執行長(本願寺代表役員)安永 雄玄氏	30 名
9 月 28 日(木)	228 回: 侍ジャパンを勝利に導いた栗山監督流『組織のつくり方』 WBC 侍ジャパン 監督 栗山 英樹氏	31 名
11 月 30 日(木)	229 回: 事業構想大学院教育における起業家輩出への動き、地方活性化について 事業構想大学院大学 学長 田中 里沙氏	31 名
1 月 17 日(水)	230 回: ポストコロナ時代の新しい社会のあり方 経済思想家 斎藤 幸平氏	32 名
3 月 4 日(月)	231 回: AI 時代の脳の磨き方 脳科学者 茂木健一郎氏	31 名
会場: ホテルオークラ		

7. マーケティング検定に関する運営【定款第 4 条第 7 項】

◆ マーケティング検定 1 級・2 級・3 級

- ・ 2017 年 9 月内閣府の認定を受け、同年 10 月より 3 級を開始。2020 年 7 月 1 日より 2 級を開始。2022 年 9 月 25 日より 1 級を開始。
- ・ CBT(Computer Based Testing)試験を採用し、全国の誰もがどこでも受験できるシステムを構築。
- ・ マーケティング検定の問題作成委員会は、早稲田大学 恩蔵直人教授などで構成。
- ・ 大手企業を中心に幅広い業界から、新入社員研修や社内研修の一環として採用されている。

◆ マーケティング検定 公式問題集&解説

マーケティング検定の開始と共に、公式問題集を発刊。amazon、楽天ブックスなどのネット販売、各ストアでの電子書籍に加え、2022 年から日本マーケティング出版として発行し、全国の書店で購入が可能になった。団体受験希望の企業による一括購入にも対応。

◆ マーケティング検定 E ラーニング講座

マーケティング検定 3 級試験の内容に即した E ラーニング講座を 2018 年 10 月に開始。当協会のマーケティング検定専用ホームページから販売。

II. 2023 年度新入会員社

4 月	(株)アイ・エヌ・ジー・ドットコム	関西
	(同)ecarlite	本部
	パナソニック コネクト(株)	本部
	(株)アートフリーク	本部
	(同)CONNECT Biz	本部
	(株)ブルボン	本部
6 月	ブロードフォード(株)	本部
	(公財)九州経済調査協会	九州
	三井住友海上火災保険(株)	本部
8 月	(株)東横イン	本部
	(公社)日本アドバタイザーズ協会	本部
10 月	オーヴ・アラップ・アント・パートナーズ・ジャパン・リミテッド	本部
11 月	ビルコム(株)	本部
	セブンシーズ マーケティングリサーチ(株)	本部
2 月	(株)ネクストアイ	本部
3 月	(株)デジタルフォルン	本部

本部	14 社
関西	1 社
九州	1 社
合計	16 社

III. 関西支部事業報告

概況

関西支部の事業トータルで予算を達成する事ができた。(収入予算比 104%・収支差予算比 125%) 特に貢献した事業はマーケティング・ベーシックコース関西とドラッグストア市場創造研究会である。全体的には、講義内容としてデジタルによる新しい取り組み事例が増えた事と、運営としてリアル開催による講義や懇親会を増やした事で、より理解しやすく、より受講生同士の交流が活発になった。

1. 人材育成・教育【定款第4条第1項】

◆ マーケティング・ベーシックコース関西

- リアル開催のみで行い、グループワークでは活発な議論が交わされ、受講者からの意見ではチームの交流について高い評価を受けた。最終発表会は、派遣責任者もお呼びし総勢約 100 名。

で実施し、その後の懇親会も大勢に参加いただいた。

- 指導講師 委員長 石井 淳蔵氏 神戸大学 名誉教授
講師 栗木 契氏 神戸大学大学院 経営学研究科教授
小林 哲氏 大阪公立大学大学院 経営学研究科教授
廣田 章光氏 近畿大学 経営学部教授
清水 信年氏 流通科学大学 商学部教授
後藤こず恵氏 流通科学大学 商学部准教授
吉田 満梨氏 立命館大学 経営学部准教授

- 実施期間 2023 年 7 月 7 日(金)～9 月 1 日(金) 9 回
- 参加者 57 名
- 会場 中之島 NCB ビル スカイルーム

◆ マーケティング・マスターコース関西

- 原則「リアル」で開催した。グループワークも対面で実施することにより、活気ある議論が展開された。修了式では、受講生と論文アドバイザーで約 30 名の方に、リアルで集まり修了式+懇親会を開催することが出来た

- 実施期間 2023 年 6 月 9 日(金)(開講式)～2024 年 3 月 6 日(水)(修了式)
- コース構成 全 23 科目計 126 セッション・基本毎週水曜日 9:30～17:40 にて開催。
- 参加人数 16 名(15 社)
- 会場 中之島センタービル JMA 関西支部会議室
- 本年度で第 23 回目となった 「鳥井道夫賞」を最優秀論文 1 本、優秀論文 2 本に対し贈賞した。
第 23 期マスターコース関西 鳥井道夫賞受賞者

最優秀論文 1 点

「おまもり消費」のマーケティングへブランドが「おまもり」として選択されるには～
江崎グリコ(株) 松田 紗季氏

優秀論文 2 点

糖質制限最強説の崩壊～消費者ニーズの変化を見逃すな～
小林製薬(株) 源治万裕心氏

「体験したことないのに、懐かしい」Z 世代向けノスタルジーマーケティングを考える
(株)電通 小原 詩海氏

第 23 期マスターコース関西 マイスター、及びアカデミックアドバイザー

(2023 年 6 月現在・氏名 50 音順)

【マイスター代表】

木村 幸生氏 江崎グリコ(株) 執行役員 健康イノベーション事業本部本部長

【マイスター】

秋田真奈美氏 大阪ガス(株) 経営企画本部 DX 企画部ビジネスアナリシスセンター課長

浅田 拓二氏 (株)マンダム 技術戦略部部长
 伊藤 和典氏 京セラドキュメントソリューションズ(株) マーケティング本部グローバルマーケティング統括部部长
 石田 良太氏 (株)阪急阪神百貨店 阪急本店サステナブルコンテンツ開発部セネラルマネージャー
 乾 正和氏 (株)ADK マーケティング・ソリューションズ デジタルビジネスプロデュースセンター第2 デジタルビジネスプロデュースユニット長
 今井 直人氏 ダイキン工業(株) マーケティングリサーチ本部企画グループ 担当課長
 岩宮 克臣氏 (株)博報堂 関西支社 マーケットデザインビジネス推進局ビジネスデザインディレクター
 岩本 雄平氏 象印マホービン(株) 新事業開発室 室長
 上田 昌弘氏 パナソニック(株) エレクトリックワークス社 コミュニケーション企画室室長
 大藪 範子氏 (株)ワコール WEB 販売事業部ウェブストア営業部ウェブストア営業企画課デジタル戦略アドバイザー
 小川 謙一氏 (株)アサヒ・ファミリー・ニュース社 取締役
 奥野久仁子氏 ロート製薬(株) プロダクトマーケティング部マネージャー
 奥山 保雄氏 小林製薬(株) ヘルスケア事業部マーケティング部新製品開発グループグループ長
 尾張 英正氏 (株)JR 西日本コミュニケーションズ コミュニケーションプランニング局局长
 加曽利一樹氏 シオノギヘルスケア(株) 経営戦略部長
 亀田 泰明氏 (株)マンダム 取締役 副社長執行役員
 川崎 真吾氏 サントリー(株) 常務執行役員 ヒールカンパニー生産研究本部長商品開発研究部長
 川崎 達矢氏 (株)NTT ドコモ データプラットフォーム部データ戦略担当担当部長
 北村 栄治氏 (株)電通 中部ビジネスプロデュース局長
 黒田 滋氏 サントリー(株) 近畿営業本部 営業企画部長
 小中 繁雄氏 (株)エネアーク関西 執行役員 販売事業部部长
 齊藤 裕子氏 凸版印刷(株) 関西 TIC 本部デジタルマーケティング部担当部長
 佐本 昌久氏 関電サービス(株) 取締役 経営企画部長兼新規事業開発部長
 清水 隆広氏 宝酒造インターナショナル(株) 海外酒類開発部長
 清水 憲彦氏 スプリングプランニング 代表
 下村 真三氏 サントリー(株) 常務執行役員 近畿営業本部長
 白川貴久子氏 (株)NTT ドコモ 執行役員 中国支社長
 杉本 宏治氏 月桂冠(株) 広域流通部部长
 杉本 大氏 ヤンマーマルシェ(株) 取締役 経営企画部長
 鈴木 達郎氏 (株)セールスフォース・ジャパン Marketing Cloud 関西エンタープライズ営業部部长
 田口 敬子氏 フジッコ(株) 新事業開発部長
 田中 国男氏 ケンミン食品(株) 執行役員 マーケティング部部长
 河田 邦博氏 西日本旅客鉄道 経営戦略本部コーポレート・コミュニケーション部担当部長
 中尾 真範氏 六甲バター(株) マーケティング本部事業開発部長
 中村 正樹氏 朝日新聞社 メディア事業本部大阪アカウントソリューション部部长
 永久 秀明氏 江崎グリコ(株) 執行役員 Glico Asia Pacific Pte.Ltd COO
 西尾 光則氏 (株)電通 ソリューション・デザイン局コネクションプランニング部シニア・ソリューション・ディレクター
 長谷川 想氏 (株)電通 電通メディアイノベーションラボ 研究主幹
 菱田 和宏氏 (株)大広 DX 推進局 局長
 堀本 悟氏 レンゴー(株) パッケージング部門 西部営業本部営業第一部長
 松本 竜氏 読売新聞大阪本社 広告局 営業政策部
 宮本 博文氏 (株)Goldratt Japan プリンシパル
 宗利 拓也氏 阪急阪神ホールディングス(株) グループ 開発室事業開発部 部長
 山田 則夫氏 甲南女子大学 副参与
 山村 昇氏 日本山村硝子(株) 取締役 執行役員 プラスチックカンパニー社長
 吉松 一隆氏 (株)博報堂 関西支社

【アカデミック・アドバイザー】

石井 淳蔵氏 神戸大学 名誉教授
 川上 智子氏 早稲田大学大学院 経営管理研究科教授
 栗木 契氏 神戸大学大学院 経営学研究科教授
 小林 哲氏 大阪市立大学大学院 経営学研究科教授

清水 信年氏 流通科学大学 商学部教授
廣田 章光氏 近畿大学 経営学部教授
吉田 満梨氏 神戸大学大学院 経営学研究科准教授

◆ 関西 BtoB マーケティング研究会

- ・ ハイブリッド開催とし、3 回コースで実施。参加料金を従来に戻した。コーディネーターの神戸大学大学院南教授と BtoB マーケティング研究会委員の方々との活発な質疑応答で参加者には好評であった。
- ・ コーディネーター 南 知恵子氏 神戸大学 副学長(DX・リカレント教育担当)
- ・ 委員 今井 直人氏 ダイキン工業(株) マーケティングリサーチ本部 調査グループ長
/順不同 岸本 航氏 (株)電通 BXデザイン局 BXプロデュース4部マーケティングディレクター
杉村 誠氏 凸版印刷(株) 本社 万博・IR推進室 室長代理
高木 淳氏 古野電気(株) 執行役員 経営企画部長
渡辺 伸也氏 京セラ(株) コーポレート・マーケティング部 エキスパート
- ・ テーマ グリーン・イノベーション
- ・ 実施期間 2023 年 10 月 16 日(月)～11 月 13 日(月) 全 3 回
- ・ 参加者 11 名
- ・ 会場 中之島センタービル JMA 関西支部会議室・オンラインのハイブリッド開催

◆ ドラッグストア市場創造研究会 2023

- ・ 2021 年度、第 1 回目のドラッグストア市場創造研究会を開催させて頂き、参加者から大変好評でしたので、昨年に続き第 3 回目のドラッグストア市場創造研究会を開催した。月 1 回協会東京本部アカデミーホールにてハイブリッド開催、7 月より計 8 回開催。
- ・ 参加企業数 26 社 31 名の参加で、7 社の非会員社を含む。
- ・ コーディネーター 守口 剛氏 早稲田大学 商学大学院教授
- ・ ファシリテーター 平野 健二氏 (株)サンキュードラッグ 代表取締役社長
- ・ 実施期間 2023 年 7 月 4 日(火)～2 月 6 日(火) 8 回
- ・ 参加者 31 名
- ・ 会場 日本マーケティング協会 アカデミーホール・オンラインのハイブリッド開催

1. セミナー【定款第 4 条第 1 項】

◆ マーケティング・フォーラム

- ・ 年 1 回実施されます「マーケティング・フォーラム」は 5 回目となる。大阪・関西万博にも参加されるサイエンスの青山会長と、その商品を全店で採用されたダイナック伊藤会長の講演となった。経営者視点で、青山会長の会社を立ち上げられた苦労話や、そこから市場拡大された取り組みなど勉強になった。
- ・ フォーラム部会長 細井 淳一氏 (株)大広 顧客価値開発本部 顧客発掘局細井チームリーダー
- ・ 講師 青山 恭明氏 (株)サイエンスホールディングス 代表取締役会長
伊藤 恭裕氏 (株)ダイナックホールディングス 会長
- ・ テーマ ミラブルのファインバブル技術が生み出す新たな価値～大阪・関西万博でさらなる飛躍を目指す～
- ・ 実施期間 2023 年 10 月 24 日(火)
- ・ 参加者 39 名
- ・ 会場 中之島 NCB ビルスカイルーム・オンラインのハイブリッド開催

◆ 女性マーケターの集い【定款第 4 条第 6 項】

- ・ 今回のテーマは「生活者が発話したくなる企画の生み方」。ブランドから一方的な発信だけではなく、SNS などを活用し、生活者を巻き込んだマーケティング手法が注目されている。実際に世

の中で話題になった企画やブランドに携わった女性マーケターから、生活者が興味をもって「発話したくなる」企画の作り方、SNS 活用の“実態”をお話頂きました。

- ・ コーディネーター 金田 彩佳氏 (株)博報堂 関西支社 第二プランニングチーム
松下裕美子氏 (株)博報堂 関西支社 第一プランニングチーム
- ・ 講師 奥野 夏帆氏 (株)博報堂 生活者エクスペリエンスクリエイティブ局戦略 CD/マーケティングディレクター
吉澤 美玖氏 (株)AbemaTV 第一制作局プロデューサー
酒巻 真琴氏 サントリー(株) RTD・LS 事業部事業開発部長
- ・ テーマ 生活者が発話したくなる企画の生み方
- ・ 実施期間 2023 年 11 月 10 日(金)
- ・ 会場 (株)博報堂 関西支社 会議室
- ・ 参加者 30 名

◆ JMA 関西例会【定款第 4 条第 6 項】

- ・ 新しいテーマを中心に、全国向けにオンラインで開催した。「都市メタバース訴求のバーチャル大阪」、「Z 世代に人気で万博 PR にも行っている東京ガールズコレクション」「2024 年に 100 周年を迎える甲子園球場の取り組み」「今話題の生成 AI でマーケティングがどう変わるのか」のテーマで開催しました。第 209 回 JMA 例会は見逃した方に、後日限定でご覧いただけるサービスを実施して 17 名の方にご利用いただいた。
- ・ 月例会部会長 前田 浩希氏 (株)電通 関西支社 リュウ・デザイン局エグゼクティブ・プロジェクト・ディレクター
- ・ 各回のテーマと講師は下記のとおりである。

開催日	テーマ	参加者
5 月 30 日(火)	第 206 回 バーチャル大阪が創出する新たな都市体験	27 名
9 月 22 日(金)	第 207 回 イベントメディア東京ガールズコレクションが起こすトレンド ファッションだけではない地方創生から SDGs まで	13 名
11 月 16 日(木)	第 208 回 開場 100 周年を迎える阪神甲子園球場	26 名
2 月 28 日(水)	第 209 回 JMA 例会 生成 AI はマーケティングをどう変えたか、変えていくか	40 名
会場：オンライン開催		

◆ メンバーズセミナー【定款第 4 条第 6 項】

- ・ 会員社への会員サービスの一貫としテーママーケティング超入門講座」を例年春と秋の 2 回開講。秋からは完全リアル開催に変更し、参加者同士が交流できる場を提供した。春・秋ともにご好評いただき、満員での実施となった。

開催日	テーマ	参加者
4 月 18 日(火)	『プロ直伝！成功するマーケティングの基本と実践』から読み解くマー	77 名
10 月 17 日(火)	ケティング超入門講座 2023	47 名
会場：中之島センタービル 31F スカイルーム・オンラインのハイブリッド開催		

◆ 一般セミナー【定款第 4 条第 6 項】

- ・ 毎週 1 回オンラインセミナー開催の協会目標に対応して、支部として新規に 3 回開催した。

開催日	テーマ	参加者
7 月 13 日(木)	嘘と愛 ～広告をつくるときに考えていること～	9 名
10 月 12 日(木)	(2023)1 からの実践ファシリテーション講座	33 名
会場：オンライン開催		
9 月 15 日(金)	さらに進化・拡大するコネクテッドTVの最前線	37 名
会場：中之島センタービルスカイルーム・オンラインのハイブリッド開催		

2. 情報発信【定款第4条第4項】

- ・季刊紙「マーケティング・ビュー」を例年通り年4回発行できた。全国の会員社・学者へ5,000部を配布。広告集稿においては、前年実績社を中心に満稿を維持することができた。
- ・編集部会長 **藤川 博章氏** (株)博報堂 執行役員関西支社長(2023年3月現在)

春号4月	トップインタビュー: 対談:	中井 貫二氏 千房ホールディングス(株) 代表取締役社長 山本 昌仁氏 たねやグループ CEO
夏号7月	トップインタビュー: 対談:	丸山 卓氏 ダイビル 代表取締役社長執行役員 許 校治氏 Grandelimit(株) 代表取締役
秋号10月	トップインタビュー: 対談:	菊池 嘉聡氏 タイガー魔法瓶(株) 代表取締役社長 柴田 茂樹氏 ロゴスコーポレーション(株) 代表取締役社長
新年号1月	トップインタビュー: 対談:	堀場 弾氏 (株)堀場製作所 常務執行役員 久保田晃司氏 阪神園芸(株) 代表取締役社長

3. 第15回日本マーケティング大賞「地域賞」【定款第4条第3項】

- ・東京本部で行われる全体選考と並行して地域賞(関西地区)の選考い、1次選考は小委員会で候補12案件から以下4案件に絞り込んだ。
 - ①「歩道君によるインクルーシブマーケティング」: 錦城護謨(株)
 - ②「大阪湾の未利用魚を活用「もったいないをおいしいに」にわの潮ラーメン」: エースコック(株)
 - ③コロナ禍におけるセレンディピティ消費を捉えた新規需要創造の試み偶発性で旅の行き先を決める「サイコロきっぷ」プロモーション: 西日本旅客鉄道(株)
 - ④「わくわく」する都市公園へのリニューアル。: わくわくパーククリエイト(株)
- ・最終選考は運営委員会で実施し、候補4案件より選考、地域賞は④西日本旅客鉄道(株)に決定した。

運営委員会委員、及び地域賞選考小委員会委員 2023年3月現在

最終審査

関西支部長	辰馬 政夫氏	dentsu Japan 執行役員 関西代表
選考委員長	下村 真三氏	サントリー(株) 常務執行役員 近畿営業本部長
選考委員	石井 淳蔵氏	神戸大学 名誉教授
	安場 孝氏	朝日新聞大阪本社 メディアビジネス局長
	木村 幸生氏	江崎グリコ(株) 執行役員 健康イノベーション事業本部長兼健康事業マーケティング部長
	清澤 優氏	産経新聞大阪本社 メディア営業局長
	久田英一郎氏	サントリー(株) 近畿営業本部 営業企画部企画担当部長
	立田 真氏	(株)市場調査社 代表取締役
	萬谷 裕之氏	(株)大広 大阪ブランド・アクティベーション・ロデュース本部 副本部長
	前田 浩希氏	(株)電通 ソリューション・デザイン局シニアエンゲージメントディレクター
	戸堀 勇人氏	日本経済新聞社大阪本社 メディアビジネス広告コミュニケーションユニット長
	藤川 博章氏	(株)博報堂 執行役員 関西支社長
	飛田 拓肖氏	毎日新聞社大阪本社 営業総本部 大阪営業本部長
	西村 健氏	(株)マンダム 代表取締役社長執行役員
	有田 淳氏	読売新聞大阪本社 執行役員広告局長
	角田 康之氏	ロート製薬(株) マーケティング&コミュニケーション部部長

一次審査 関西支部地域賞選考小委員会メンバー

委員長	吉田 康政氏	(株)マンダム 常務執行役員 マーケティング統括
委員	福井 貴博氏	産経新聞大阪本社 メディア営業局企画開発部企画委員
	久田英一郎氏	サントリー(株) 近畿営業本部 営業企画部企画担当部長
	井川 勇氏	(株)博報堂 関西支社 マーケットデザイン・ビジネス推進局デジタル・メディアビジネス推進部部長

小林 淳男氏	(株)電通コーポレーション 事業企画オフィス関西ビジネス推進部シニアディレクター
大政 剛氏	(株)大広 大阪 BPA 本部 顧客価値開発局局長
永野 隆一氏	(株)マンダム 開発管理・OEM 企画部部長
角田 康之氏	ロート製薬(株) マーケティング&コミュニケーション部部長

< 関西地域賞 >

偶然性で旅の行き先を決める「サイコロきっぷ」プロモーション：西日本旅客鉄道(株)

西日本旅客鉄道株式会社では、スマホアプリによる、1 名(往復)あたり 5,000 円で旅ができる旅行サービスの「サイコロきっぷ」を開発。アプリ上のサイコロを振り、出目に応じて 7 つの行先がランダムに決定する仕組み。行先は白浜、城崎温泉、舞鶴、倉敷、芦原温泉、尾道、博多。割引率は 5～8 割で、博多が当たると最大 82%割引。仲間と一緒にの旅が可能でエントリー 1 回につき 6 名までの旅行が可能とした。

目標 20 万人に対して計画比 122%となる「24.4 万人」売上 12 億円を達成。また、調査によれば 49.5%がもともと旅行の計画がなかった、27.3%が他の交通手段を使って旅行する予定だったと答え、売上の約 8 割が新規需要創造だったことが判明した。

また宿泊者が 66%占めることから、地方の宿泊・飲食・土産観光産業等などの経済効果をもたらしたと考えられる。

IV. 九州支部事業報告

概況

2023 年度の研修は新型コロナの収束によりリアル開催(対面式)を復活させたが、東京開催のセミナーにオンラインで参加できることが一般化したため、集客には苦労した。一方、オンラインで開催した他のセミナーやワークショップについては、全国からの応募が可能であるため、集客は順当であった。

1. 人材育成・教育【定款第4条第1項】

◆ マーケティング・ベーシックコース

- ・ マーケティングの基礎を1から学び、更に実践の場で活用することを目的とするセミナー。対象は、マーケティングに関わる企業に入社された方、マーケティングの現場に配属された方、実務に生かすために学びたい方など。
- ・ 今年度はリアルでの開催を基本とし、一部オンラインでも参加できる内容に工夫した。昨年の参加者の満足度アンケートを基に、カリキュラムの内容も改めた。
- ・ 変更した主なポイントは
 - ①5日間のカリキュラムを「(1)1からマーケティングの基礎を学ぶステージ(6コマ)⇒「(2)デジタル時代のマーケティングを理解するステージ(6 コマ)」⇒「(3)実務に生かすステージ(3 コマ)」の3階建てとしたこと。
 - ②全国から参加が可能なコース(「Bコース」)を設けたこと。
 - ③参加費については、本部開催のコースとの価格差が大きいため値上げを試みたこと。
- ・ 実施期間 Aコース 9月5日～10月26日 5回 13名
Bコース 9月19、10月12日 2回 25名
- ・ 会場 電通九州 11階ホール・オンラインのハイブリッド開催 Bコースはオンラインのみ

◆ 仮説力・企画力アップトレーニング講座

- ・ マーケティングの定石を使い、「逆算マーケティング」の手法で仮説力・企画力を高めるワークショップ。「逆算マーケティング」とはヒット商品を企画者になったつもりで、発売前にさかのぼり、仮説や企画を想像して考えていく手法。九州支部では久々の対面式の講座となった。参加者からは対面で参加者同士が知り合えたことへの満足度が高かった。

開催日	テーマ	参加者
3月26日(火)	仮説力・企画力アップ・トレーニング講座	18名
会場：オンライン開催		

2. セミナー・講演会【定款第4条第1項】

◆一般セミナー

- ・ 7月に媒体社向けに米国のインターネットTVの最新動向「FAST」(広告付きの無料ストリーミングTV)についてのセミナーを実施した。会員企業だけでなく、全国の放送局の様々な部門(編成、報道、番組制作プロダクションなど)からの申込みがあり、盛況であった。
- ・ 12月にはグローバル展開を行う企業向けに、これからの競合環境を見る新しい指標「アリーナ」についてのセミナーを実施した。競合環境を従来のような「同業カテゴリー」にだけ見るのではなく、異業種を含めた「アリーナ」というひとつ上の視座から見ていくことが大切だという内容で、グローバルなブランディングに携わる参加者からは好評であった。
- ・ どちらもやや尖った内容であったが、全国から受講申込みがあり、参加者にとって満足度の高いものになった。

開催日	テーマ	参加者
7月28日(金)	メディアはこれからどうなっちゃうか、どうしたらいいか～世界の潮流もちゃんと見て、新しいメディアと広告を発明しよう～	59名

12月6日(水)	「カテゴリー」から「アリーナ」へ～生活者の享受価値から競合環境を捉え直す～	20名
会場：オンライン開催		

◆九州例会

- ・4月と10月に開催の「運営・業務推進合同委員会」において、委員対象に対面式でミニ講演会を実施した。

開催日	テーマ
4月11日(金)	日本の課題と再生
10月20日(金)	第15回日本マーケティング大賞 九州地域賞受賞 ECYCLE PROJECT(エサイクルプロジェクト)～食料廃棄物を釣りえさへ～
会場：㈱電通九州 11階ホール	

3. 情報発信【定款第4条第4項】

九州マーケティング・アイズ

- ・例年通り年4回、104号～107号を発行した。
- ・全国の会員社・学者へ2,800部配布。
- ・編集委員長 **渡辺 徹氏** (㈱西日本新聞社 お客様センター メディアビジネス局メディアプランニング部 担当部長)
- ・編集委員 **副田 治氏** (㈱九州博報堂 九州しあわせ共創ラボ 所長)
篠崎 一拓氏 (㈱大広九州 リュウシヨウ開発局 統合プランニング部部長)
林田 和典氏 (㈱読売新聞西部本社 広告局ビジネス1部長)
吉田 考貴氏 (㈱電通九州 インテグレート・クロスプランニング室クロスマーケティング部)
- ・B5サイズ 本文28ページの体裁にて上記編集委員で編集制作
- ・104号は “スポーツの定義が変わったことによる「スポーツ市場の最新動向」について、105号では九州でブームになっているバイキング(＝自転車の最新呼称)にフォーカスし、「自転車を作る九州の未来」について特集した。106号は少子化で市場が縮小する中で切磋琢磨する「九州の焼酎」について特集した。107号では伸び悩む単品通販の先に「九州の通販企業が現在何を見ているのか」最新動向について特集をした。

通巻	発行月	特 集
第104号	4月	スポーツ市場の最新動向
第105号	7月	Biking 自転車がつくる未来の九州
第106号	10月	九州の焼酎文化とマーケティング
第107号	1月	進化を続ける通販王国 九州の今とこれから

4. 第15回日本マーケティング大賞「地域賞」【定款第4条第3項】

- ・2023年4月18日に地域賞選考小委員会(秀島 徹氏(㈱西日本新聞社 執行役員メディアビジネス局長))を開催し、皆さまに投票いただき、候補13案件より上位3件を下記の要領で選考した。
- ・運営委員会委員、及び地域賞選考小委員会委員 2023年3月現在

選考委員長 **秀島 徹氏** (㈱西日本新聞社 執行役員メディアビジネス局長)
 選考副委員長 **神野 寛文氏** (九州旅客鉄道㈱ 総合企画本部経営企画部担当課長)
 選考委員 **井野 浩樹氏** (RKB毎日放送㈱ 営業局次長兼営業推進部長)
生方 圭氏 (㈱朝日新聞社 西部本社 メディアビジネス部部長)
山口 賢二氏 (㈱岩田屋三越 営業計画担当長)
川辺 圭介氏 (九州朝日放送㈱ 総合営業本部副本部長兼営業推進グループ長)
副田 治氏 (㈱九州博報堂 九州しあわせ共創ラボ所長)

護山 龍二氏 サントリ(株)九州営業本部 企画部長
 遠山 敏行氏 JR九州エージェンシー(株) コミュニケーションデザイン部長
 草原 佳智氏 (株)大広九州 ソリューション開発局ストラテジックプランニング部長
 秋山 隆司氏 (株)TVQ九州放送 営業局業務推進部長
 黒木 亮順氏 (株)テレビ西日本 営業局営業推進部長
 森脇 淳氏 (株)電通九州 社長執行役員付アドバイザー
 鈴木 賀雅氏 (株)西鉄エージェンシー マーケティング企画本部マーケティング企画グループチームリーダー
 布勢 健泰氏 (株)西日本新聞広告社 取締役営業本部長
 高倉 浩之氏 (株)西日本新聞社 メディアビジネス局次長
 大原 可愛氏 西日本鉄道(株) 広報・CS推進部 広報課 課長
 上遠野三雄氏 (株)日本経済新聞社西部支社 広告コミュニケーション部部長
 本岡 崇宣氏 (株)福岡放送 営業部長
 荒瀬 優氏 毎日新聞西部本社 西部営業本部営業部長
 林田 和典氏 (株)読売新聞西部本社 広告局ビジネス1部長

<九州地域賞>

食料廃棄物を釣りえさへ ECYCLE PROJECT : (株)電通九州・IMARI(株)・九州大学

IMARI(株)、九州大学、(株)電通九州との産学共同プロジェクト。

食料廃棄物(廃棄される魚の頭や骨などのアラなど)を原料とした釣りえさを開発。フードロスを減少させると共に、海や魚にやさしい釣りを実現。パッケージも従来の釣りえさには無い、人間の食べ物を想起させるデザインで、かつエコな素材を使用。さまざまな食品系企業とのタイアップも計画しており、2022年夏にはいかシュウマイで有名な呼子萬坊社のイカの廃棄物を利用した協賛パッケージを販売。海上レストランで子どもたちへの釣りとお食育授業を実施。

釣りえさが中心となり ECO な ESA から E(良い)サイクルが生まれる。ECYCLE PROJECT を目指している。

V. 北海道支部事業報告

北海道支部 2023 年度は、5 月の「マーケティング基礎講座」を皮切りに、6 月から 7 月にかけて「デジタルマーケティング実践講座」全 4 回をワークショップも含めてリアルで実施。しかし、まだコロナへの懸念や競合する他社の多数のオンラインセミナーの影響があり、集客に苦戦する結果となった。8 月には「第 15 回日本マーケティング大賞北海道地域賞 受賞記念講演会」をオンラインで実施。今年度は緑丘工房株式会社様の「創業 6 年の酒蔵が挑戦する【6 次産業化地方創生】」プロジェクトが北海道地域賞を受賞。

9 月からは「プロジェクトリーダー養成講座」を 10 月までに 6 回、企業が実際に課題として直面した事例を、ケースメソッドによるグループ討議。

11 月には 4 回にわたり「北海道企業マーケティングセミナー」を開催。小樽商科大学の 4 名の講師に、北海道日本ハムファイターズ、ニトリ、ルタオ、鶴雅リゾートのマーケティングについて講義をいただいた。また、マーケティングで成功する秘訣を解説する「マーケティングスキルアップ講座」を開催。シリーズ回数を 2 回と少なくし、参加料も抑える等、北海道初の試みとして実施したが、残念ながらこちらも目論見通りの集客とはならなかった。

2 月には「月イチデジタル 60 分・SNS マーケティング特集」を実施。毎月 1 回 60 分、聞きたいテーマを選んで参加できるという全 4 回のセミナー。また、コロナ 5 類移行後の消費者意識と欲望を読み解く内容の「消費潮流セミナー」を開催。

1. 人材育成・教育【定款第 4 条第 1 項】

◆ アカデミー

プロジェクトリーダー養成講座

- ・ 小樽商科大学ビジネススクールで使用されているケースメソッドによるワークショップでグループ討議にて戦略を立案。
- ・ 講師 近藤 公彦氏 小樽商科大学 ビジネススクール教授
- ・ 実施期間 2023 年 9 月 19 日(火)～10 月 31 日(火) 全 6 回
- ・ 参加者 7 名
- ・ 会場 小樽商科大学札幌サテライト 中講義堂

2. 講座【定款第 4 条第 1 項】

◆ マーケティング基礎講座

開催日	テーマ	参加者
5 月 26 日(金)	イノベーションを生み出すマーケティング発想	10 名
会場：電通北海道 会議室		

◆ デジタルマーケティング実践講座

開催日	テーマ	参加者
6 月 30 日(金)	ChatGPT で流れは変わる？ソーシャルメディアマーケティングの本質	12 名
7 月 14 日(金)	顧客の購買行動を起点に考える Instagram マーケティング戦略	
7 月 21 日(金)	若者に刺さるマーケティングの作り方	
7 月 28 日(金)	ソーシャルリスニングを制するものが、企画、施策、世の中の流れを制する	
会場：北海道建設会館		

◆ マーケティングスキルアップ講座

- ・ 講師 高野 修平氏 (株)トライバルメディアハウス 執行役員
- ・ 実施期間 2023 年 11 月 8 日(水)～11 月 29 日(水) 全 2 回
- ・ テーマ マーケティングで成功する秘訣、全解剖！～売上の地図を明らかにして、戦略優位のマーケティングが勝利する。～
- ・ 参加者 7 名
- ・ 会場 道特会館 6 階 中会議室

3. セミナー【定款第 4 条第 1 項】

◆ 北海道企業セミナー

- ・ 実施期間 2023 年 11 月 7 日(火)～11 月 28 日(火) 全 4 回
- ・ テーマ 北海道の、おいしい企業の、おいしいマーケティングを根掘り葉掘り！
- ・ 参加者 7 名
- ・ 会場 オンライン開催

◆ 月イチデジタル 60 分 今回は SNS マーケティング

- ・ 講師 高野 修平氏 (株)トライバルメディアハウス 執行役員

開催日	テーマ	参加者
2 月 14 日(水)	企業のソーシャルメディア新戦略～最新アルゴリズムから考える運用方針の最適解～	24 名
3 月 12 日(火)	Instagram アカウント運用戦略セミナー～想起を勝ち取る“攻め”コンテンツとは？～	25 名
会場：オンライン開催		

◆ 消費潮流セミナー2024

開催日	テーマ	参加者
2 月 21 日(水)	コロナ 5 類移行後の消費者意識と欲望を読み解く	17 名
会場：オンライン開催		

4. 第 15 回日本マーケティング大賞 「地域賞」【定款第 4 条第 3 項】

- ・ 2023 年 3 月 28 日(火)に北海道地域賞選考会を開催し、北海道地区選考委員の皆さまに投票いただき、候補 9 案件より上位 2 件を選考した。
- ・ 北海道地区選考会 委員 2023 年 3 月現在

運営委員長	箱石 文祥氏	ホクレン農業協同組合連合会 代表理事専務
業務推進委員長	五十嵐正剛氏	(株)北海道新聞社 常務取締役
選考委員	山本 秀樹氏	(株)電通北海道 執行役員ビジネスプロデュース局長兼ビジネス推進室長
	勝田 直樹氏	北海道放送(株) 代表取締役社長
	黒田 重雄氏	北海道大学 名誉教授
	飯山 学氏	サントリー(株) 北海道営業本部 企画部部長代理
	長谷川秀一氏	ホクレン農業協同組合連合会 広報総合課課長
	清水 収氏	北海道放送(株) 取締役総合ビジネス局長
	三浦 辰治氏	(株)北海道新聞社 執行役員営業局長
	山岸 浩之氏	(株)北海道博報堂 統合プランニング局/新どさんこ研究所
	久保田 修氏	(株)電通北海道 統合プランニング・ユニットコミュニケーションプランニング部専任部長
	中藪 浩氏	札幌テレビ放送(株) 常務取締役
	阿部 祥治氏	(株)道新サービスセンター 取締役広告営業本部長
	池田 明氏	石屋商事(株) マーケティング室ゼネラルマネージャー
	佐々木威知氏	(株)セコマ 執行役員渉外部部長
	寺内 達郎氏	北海道テレビ放送(株) 代表取締役社長
	戸澤 貴弘氏	凸版印刷(株) 北海道事業部 北海道営業本部営業第 2 部部長
	小手森信一氏	(株)テレビ北海道 常務取締役
	川崎 正隆氏	生活協同組合コープさっぽろ マーケティング部長兼ギフト部長
	山田 純一氏	(株)モロオ 執行役員経営戦略室長
	佐々木卓也氏	フュージョン(株) 代表取締役社長
	臼井 栄三氏	北海道教育大学 非常勤講師・マーケティングプランナー

<北海道地域賞>

創業6年の酒蔵が挑戦する「6次産業化地方創生」：緑丘工房(株)

北海道で戦後初の日本酒の酒造会社を上川町に新設、日本酒として高い評価を得た。

さらに、同町内で、酒造りの他にチーズ工房やホテル経営などを担い町内の活性化に寄与。道内他地域でも帯広では帯広畜産大学と連携、函館では函館高専と連携し、創業から5年間で3つの新たな酒蔵を創設した。

「大雪山系の雪解け水」という地域の強みを活かした製品作りを通し、町内でしか入手できない限定商品を作るなど地域の交流人口・関係人口の創出に寄与。また上川町以外でも拠点を作って各地域における人材育成・産業振興ならびに北海道経済・産業の発展を図っている。

造られる日本酒は各種鑑評会で高い評価を得る一方、上川町その他、帯広市・函館市でも地域の学術機関と連携して酒蔵を創設。更にオホーツク地域でも産学官連携した酒蔵を計画、ワイン造りが盛んな余市では産廃として課題だったブドウの絞りかすからブランデーを製造する計画を立てている。

第15回日本マーケティング大賞 記念セミナー

開催日	テーマ	参加者
8月31日(木)	創業6年の酒蔵が挑戦する「6次産業化地方創生」緑丘工房(株)	26名
会場：オンライン開催		

2023 年度 事業報告の附属明細書

2023 年度事業報告には、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則」第 28 条第 2 項に規定する附属明細書は「事業活動の状況の概要のうち重要なもの」が存在しないので、作成していない。

2024 年 6 月 7 日

公益社団法人 日本マーケティング協会